

きょくとうひがしかぐら 旭東東神楽地区

北海道 東神楽町



〔地区概要〕

- ◇事業種：国営緊急農地再編整備事業
- ◇関係町：北海道 上川郡 東神楽町
(JA：東神楽農業協同組合)
(土地改良区：東和土地改良区)
- ◇受益面積：1,535ha
- ◇主要工事：区画整理(田) 1,482ha
区画整理(畑) 53ha
- ◇受益戸数：263戸
- ◇主要作物：水稲、小麦、アスパラガス、スイートコーン ほか

東神楽町の概要

- ◇面積/68.64㎢
- ◇人口/10,280人 (H27.5現在)
- ◇町名の由来/
かつての神楽村(現旭川市)
(アイヌ語で「神々の遊ぶところ」
の意識)の東側にあったことから
に由来する。

地域の農業は、大雪山連峰の麓に広がる上川盆地の肥沃な土壌を生かし、北海道でも有数の米どころとして知られ、稲作を中心として、アスパラガス、スイートコーンのほかに、ほうれんそう等の施設野菜など多様な品目を栽培。

特にアスパラガス、スイートコーンは、実需者ニーズに即した冷凍加工向け国産野菜を生産。

[国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰：平成22年度(第4回)農林水産省生産局長を受賞]

また、農産物直売所の活用した地場産農産物の販売など地産地消を生かした産地づくりを推進。

しかし、農業者は減少・高齢化が進み、労働力が不足しており、野菜生産は減少傾向。

地域の特産農産物

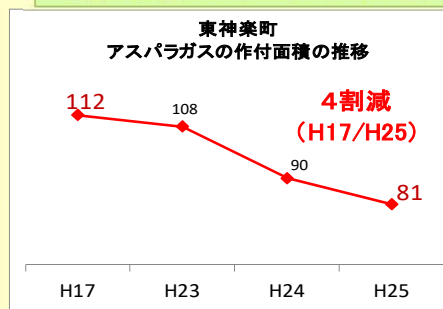
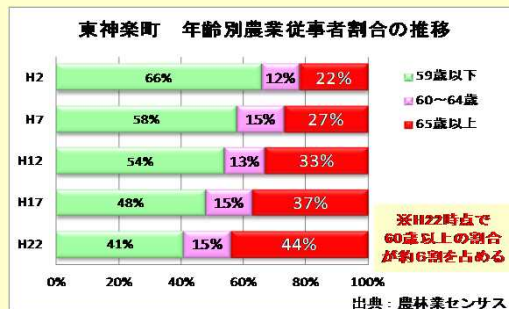
「花かぐら」



JAひがしかぐら ブランド米



冷凍加工事業(アスパラガス、スイートコーン)



生産基盤であるほ場は、昭和30~40年代に1次整備を実施してから50年が経過し、30a区画ほ場が大部分を占め、排水不良や石礫過多の条件下では、効率的な農作業が行えない状況。

なお、このようなほ場では、農地の流動化が停滞することで経営耕地の分散化や耕作放棄地となるおそれがある。



このため、将来の後継者が希望を持って農業経営を展開するためには、大区画ほ場の整備と併せて、担い手への農地集積・集団化が急務である。

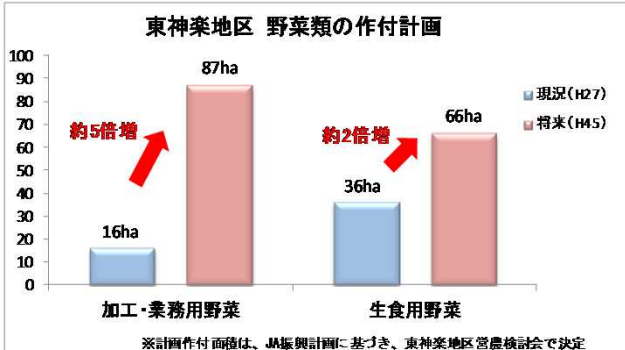
企業連携による「冷凍カット野菜」生産を核とした東神楽産野菜の生産拡大による力強い農業経営を展開

☆目的

冷凍カット野菜の生産拡大

生食用野菜の生産拡大

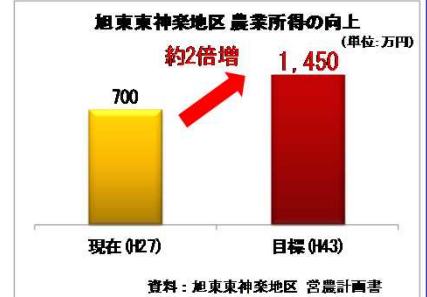
力強い農業経営



東神楽町ゆるキャラ「かぐらっきー」



取り組み A+Bにより実現するヨ!



☆攻め

☆取り組みA (集出荷体制の整備と栽培技術の向上)

需要が拡大している国産冷凍カット野菜の安定供給体制を確立【JA】



高品質な東神楽産野菜の安定生産を実現

【東神楽蔬菜研究会】



海外輸出

東神楽産の米や野菜の海外輸出に向けて、H28.2に台湾(台北市等)にプロモーションを展開。



[米の海外輸出目標] 20t (H35目標)

現在、大手商社との連携や旭川空港の就航拡大(成田空港線の復活)を検討中。

☆販売戦略

地域と企業とが連携し販路拡大
 [現況] 学校など
 [計画] 病院や福祉施設
 【地域:JA東神楽加工・業務用野菜7P ライフネットグループと企業:春雪さびーる(株)など】

旭川空港等を活用して首都圏に出荷し、東神楽産野菜ブランド力の強化により、生産額を20億円を目指す(H47目標)【JA】

☆地域雇用の創出(地方創生に寄与)

冷凍加工事業の拡大による地域住民の雇用に寄与【JA】

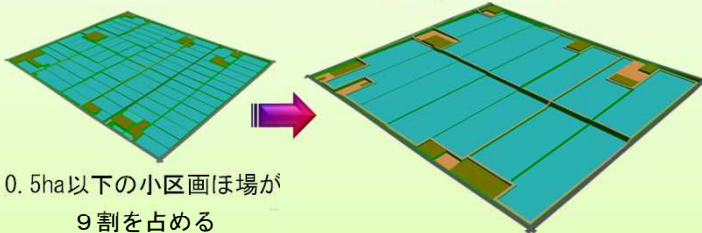
野菜作に必要な労働力は、人材サポート体制の整備により、地域住民の雇用を促進【JA】

☆取り組みB (作業の効率化と低コスト化)

国営緊急農地再編整備事業による生産基盤の整備

【現況】

【整備計画】



ほ場の大型化(2.2ha, 1.1ha)
 用排水路のパイプライン化
 担い手への農地集積・集団化

労働力の適正配分による野菜生産の拡大

東神楽地区 農作業受託組織の取組強化

更なる農作業の省力化と低コスト化を実現するため、小麦の収穫等作業を担う既設の農作業受託組織の作業内容を地域の基幹作物である水稲に拡大

